

株式会社 産業経済新聞社 サンケイスポーツ

社会学部経営社会学科

3年 神田 龍

1. 実習企業（団体）の概要

産経新聞社は、フジサンケイグループの中心となる1社で、子会社22社と関連9社からなる産経新聞グループを構成している。サンケイスポーツは1955年2月に大阪、1963年2月に東京で創刊された。その産経新聞社が発行するスポーツ新聞、通称サンスポは時代の変化を敏感に捉え、ますます多様化する顧客のニーズに柔軟に対応している。

- ・創刊 1933年6月20日(産経新聞の前身である「日本工業新聞」を大阪で創刊)
- ・設立 1955年2月15日
- ・資本金 31億7219万8500円 ・従業員数 1863人(2016年3月31日現在)
- ・所在地 東京本社 東京都千代田区大手町1-7-2
大阪本社 大阪市浪速区湊町2-1-57
- ・代表取締役会長 太田 英昭 ・代表取締役社長 熊坂 隆光

2. 実習内容

最初の二日間は、主に社内研修を行い、一日目は編集局、二日目は営業局の各部署の方々から貴重なお話を頂きました。また、社内で実際に新聞の記事が作成されている現場を見学しました。三日目は日産スタジアムにてJリーグの試合を観戦して試合後の取材現場に同行させていただきました。四日目は東京ドームにてプロ野球の試合を三日目と同様取材現場に同行させていただきました。

3. 実習の成果

私が今回のインターンシップで学んだことは、世の中に新聞を出す仕事の苦労や情報の徹底した管理、他社の記者との距離感を考慮した付き合い方などです。新聞記者は日々さまざまな情報を仕入れ、世の中に出すために情報の裏を取り、徹底した管理をしているという話を聞いて、記者という仕事への関心が深まりました。また、現在の若者世代が新聞離れをし、今後どう新聞を世に広め定着させるかという点において、インターネットを使い、スマートフォンやタブレットなどで簡単に新聞を観覧できるサービスの普及や、競馬や競艇などの一部の熱狂的なファン層に向けた専門雑誌の製作、販売など世の中の変化に対応したイノベーションの実現がとても重要であるという話を聞いて、今後の自分の進む道においてもとても重要なことだと学びました。そのほかには、地域によって関心度が違い、その地域によっての関心度に応えた新聞づくりをしていたり、情報は一日の中で変化するものでもあるので、一日に一定のタイミングで何回かに分けて出版していたりとさまざまな工夫がされていて新聞に関しての理解が深まりました。

4. 実習の感想

私は今回のインターンシップにおいて正直なところあまり関心がなく、新聞についてもあまり関心がありませんでした。しかし、日に日にいろんな話を聞くごとに新聞に対しての見方が変わり、新聞はネットのニュースよりも信頼度が高く、事細かに著されていて、見出しのレイアウトなども読者の気を引くようなデザインがされていて新聞を読むのがとても楽しくなりました。今まではスマートフォンでネットニュースを頼りに情報を得ていて、その情報の表面しか見ていなかったのが、新聞を読むようになり情報の最深部まで詳しく得られるようになりました。また、プロスポーツの取材現場に同行させていただき、コートやベンチなどに実際に足を踏み入れさせていただき、とてもいい経験になりました。体育会でスポーツをしている自分から見て、競技種目は違えどとても華やかな世界に見えて、より一層プロへのあこがれが強くなりました。今回のインターンシップで得たいろいろな経

験を今後の生活に生かせるよう今後も広い視野をもって生活していきたいと思いました。

— 実習プログラム —

日数	実習日	実習内容
1日目	8月22日(月)	社内研修 編集局
2日目	8月23日(火)	社内研修 営業局
3日目	8月27日(土)	日産スタジアムにてJリーグの試合観戦 取材風景の見学
4日目	8月30日(火)	東京ドームにてプロ野球の試合観戦 取材風景の見学